

設置目的	解決したい課題
<p>①道内各地域・各分野に、地域・暮らしと世界のつながりへの関心・理解や分野横断的な思考を広げ、地域の課題解決・発展の担い手や活動を増やしていく。</p> <p>②生涯学習の視点に立ち、学校教育と社会教育が効果的につながり、その双方において地域特性を活かした多様な学びが展開される状況をつくりだす。</p> <p>③これらをとおして 2030 年に向けて地域・世界での SDGs（国連持続可能な開発目標）達成に貢献する。</p> <p>※SDGs の達成自体は終極的な目標であり、そこに至るための教育・人づくりの拡充・支援がセンターの基本的な使命となる。その際、本道の特徴でもある環境教育分野の蓄積とポテンシャルを「強み」として活かしつつ、SDGs が包含する他の社会問題・地域課題についての学びを深め、統合的に解決していくことをめざす。</p>	<p>準備段階で明らかになった北海道での ESD 推進における主な課題は以下のとおり。</p> <p>①ESD に取り組む意義がまだ十分に共有されておらず、取り組む動機が不足している。</p> <p>②国際社会の要請、地域の課題・資源、教育活動のつながりが弱い。</p> <p>③道内の ESD 実践状況が十分に把握されておらず、関係者間の共有も不足している。</p> <p>④学校での ESD 導入・実践に際してさまざまなサポートが必要とされている。</p> <p>⑤ESD 実践者・推進主体・関係者の交流機会やマッチング機能が不足している。</p> <p>⑥道内の ESD 推進体制や相談窓口が定まっていない。</p>

事業概要	達成目標	事業実績（平成 30 年 2 月末現在）	成果と課題
<p>1. ESDに関する道内の情報・相談拠点</p> <p>1-1 情報収集・提供・相談対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 道内の ESD 実践事例や動向、道外・海外の関連情報を収集し、発信する。 活動を通して蓄積した情報を元に、人材、組織、各種参加機会等のマッチングを行う。 ESD の実践や支援に関する相談対応・助言を行う。 センターの活用に向けて機能を周知・PR する。 <p>1-2 全国事業との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ESD 活動支援センター（東京都）及び各地の地方 ESD 活動支援センターをはじめとする国内外のネットワーク活動に参加し、道内外の情報・ニーズの共有、政策提言等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報・相談拠点として関係者から一定のアクセスと認知が得られ、活用されていること。 ESD に関する情報を SDGs 各項目や GAP※の重点分野に紐付けて発信できていること。 相談・助言、マッチングの成果が得られていること。 全国レベルの ESD 推進ネットワークの構築に貢献できていること。 <p>※GAP は、「ESD に関するグローバル・アクション・プログラム」の略（英語名：Global Action Programme on ESD）</p>	<p>【情報収集・提供・相談対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方センター開設後、ヒアリング協力者、道内の教育関係機関、環境学習施設等に郵送、メールで周知を行った。 サイトアクセス数 305 件、主催・協力事業等のサイト情報発信件数 21 件、メールマガジン購読者数 1,462 人（EPO 北海道のメルマガに特設コーナーを設置）、メールマガジン発行回数 21 回、メールマガジン内 ESD 関連情報発信件数 102 件、相談対応件数 60 件（内容は参考資料 5 参照）（※上記は 9/29 地方センター開設後からカウント） 下記 6 か所において ESD、SDGs や地方センターに関わる情報発信等を実施。 ※延べ参加者数約 250 人 ①8/18（金）ESD 勉強会「第 10 回 ESD の実践を学ぶ会」シリーズ（札幌市／北海道学校 ESD 実践研究会） ②9/7（木）北海道社会教育主事研修会（岩見沢市／北海道社会教育主事協議会） ③9/22（金）北海道社会教育主事研修会（天塩町／北海道社会教育主事協議会） ④9/21（木）経団連自然保護協議会 2017 年地域懇談会（北海道）（札幌市／経団連自然保護協議会） ⑤9/27（水）北海道社会教育主事研修会（釧路市／北海道社会教育主事協議会） ⑥9/28（木）北海道社会教育主事研修会（乙部町／北海道社会教育主事協議会） <p>【全国事業との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ESD 活動支援企画運営委員会（東京都／6/13、2/20） ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会（東京都／4/26、10/10、1/17） 11/24（土）25（日）ESD 推進ネットワーク全国フォーラム（東京都／文部科学省・環境省・ESD 活動支援センター）への出展 	<p>〔成果〕</p> <ul style="list-style-type: none"> EPO 北海道ウェブサイトと連動し、SDGs 各項目や GAP の重点分野に紐づけた情報発信を実施した。 ESD に関わる組織等から、ESD や SDGs に係る情報提供等の依頼を受けたほか、<u>JICA 北海道等実践者から情報照会や今後の事業連携に向けた相談等が増加している。</u> 11/24-25 全国フォーラムの登壇依頼に対して石狩市の推薦を行い、<u>全国の ESD 関係者に石狩市の取り組みを発信することができた。</u> 全国センター実施業務に対して企画運営委員会やその他の機会をとおして助言等を行い、ESD 推進ネットワークの構築に寄与していると考える。 <p>〔課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報収集・発信に関しては、十分な情報を発信できているとは言い難く、環境以外の情報を集積・発信する仕組みづくりが必要。 さらなる相談・助言、マッチング機能向上のために地方センターの周知を進めること、未連携の分野・セクターとの連携協働を進める必要がある。
<p>2. ESD に関する理解の促進、導入・実践・交流支援</p> <p>2-1 学校教育の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員研修、教育行政向けの説明機会・出講等をとおして、ESD 導入・展開を支援する。 学校教育関係機関等と定期的に情報交換を行う。 <p>2-2 社会教育の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業・自治体・NGO・社会教育施設等による ESD の実践や SDGs への対応をコーディネート、支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育・社会教育それぞれにおいて、一定数の機会づくりや働きかけが行われていること。 主催・共催事業で参加者満足度 75%程度が得られ、有用な機会として関係者から評価を得ていること。 	<p>【学校教育の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 11/4（土）第 6 回ユネスコスクール研修会（札幌市／北海道ユネスコ連絡協議会、北海道教育大学 ESD 推進センターと共催／参加者 42 人） 下記 2 か所において ESD、SDGs に関わる情報発信等を依頼により行った。 ※延べ参加者数約 100 人 ①1/16（火）北海道科学大学未来デザイン学部メディアデザイン学科「地域活動と社会貢献」講義（札幌市／北海道科学大学） ②1/16（火）北海道科学大学未来デザイン学部人間社会学科「地域活動と社会貢献」講義（札幌市／北海道科学大学） <p>【社会教育の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境学習施設の課題解決や ESD に関わる勉強会を 2 回開催。 ①10/16（月）環境学習施設の可能性を考える第 3 回「都市型環境学習施設と持続可能な開発のための教育」（札幌市／環境中間支援会議・北海道と共催／参加者 37 人） 	<p>〔成果〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ESD に関わる組織等から、ESD や SDGs に係る情報提供等の依頼を受けたほか、<u>学校教育・社会教育それぞれにおいて ESD に関する学びの場を開催することができた。</u> 教育行政など、<u>これまで関係性が希薄であった分野・セクターとの連携協働を進めた。</u>

事業概要	達成目標	事業実績（平成30年2月末現在）	成果と課題												
<p>2-3 人材・組織の交流・学びの場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ESD拠点との連携により、道内各地でESDやSDGsをテーマに人材・組織の交流を図るフォーラム、WS等を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育・社会教育それぞれにおいて、一定数の機会づくりや働きかけが行えていること。 主催・共催事業で参加者満足度75%程度が得られ、有用な機会として関係者から評価を得ていること。 <p>※前ページ再掲</p>	<p>②11/1（水）環境教育施設の可能性を考える第4回「施設の運営評価と指定管理者制度を考える」（旭川市／環境中間支援会議・北海道、旭川市市民活動交流センターと共催／参加者37人）</p> <ul style="list-style-type: none"> 下記7か所においてESD、SDGsに関わる情報発信等を依頼により行った。 ※延べ参加者人数約130人 ①7/11（火）第1回SDGs勉強会（釧路市／ASK本校） ②8/9（水）平成29年度社会教育主事講習社会教育特講「SDGs及びESD②」講義（札幌市／北海道教育大学） ③11/29（水）地域を創るバイオマス活用講座2017（札幌市／NPOバイオマス北海道） ④12/19（火）平成29年度環境マネージャー研修会（札幌市／エイチ・イー・エス推進機構） ⑤1/20（土）北海道教育委員会社会教育主事会ブロック研修会（美瑛町／北海道教育委員会社会教育主事会） ⑥2/17（土）18（日）全国自然体験活動指導者集会2017自然体験活動フォーラム in 大雪（美瑛町／特定非営利活動法人自然体験活動推進協議会） ⑦2/23（金）恵庭商工会議所議員会第54回例会（恵庭市／恵庭商工会議所議員会） <p>【人材・組織の交流・学びの場づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ESDに関心を持つ方を対象とした交流の場づくりを3回開催した。 ①12/11（月）ESD担い手ミーティング「ローカルアジェンダによる市民社会と政策の連携の可能性を考える」（札幌市／RCE北海道道央圏協議会、特定非営利活動さっぽろ自由学校「遊」と共催／参加者20人） ②12/14（木）地方センター発足記念フォーラム「持続可能社会と教育の力～2050年の北海道をつくるESDを考える～」の開催（札幌市／RCE北海道道央圏協議会と共催／参加者85人） ③12/21（木）ESD学び合いフォーラム「SDGsカードゲームを通して気づく世界と私たちのつながり」（札幌市／参加者48人） ESDに関する学びの場づくりを事業協力により2回行った。 ※延べ参加者数約60人 ①8/24（木）SDGsを発信する～SDGs.TV水野雅弘さんを囲んで～（札幌市／特定非営利活動法人さっぽろ自由学校「遊」への協力） ②2/8（木）「SDGsの達成に向けたわたしたちの生活」～身近な消費生活から考える持続可能性～（札幌市／札幌市への協力） 	<ul style="list-style-type: none"> 主催・共催事業において、アンケート結果より「参考になった」「やや参考になった」は下記のとおり。 <table border="1" data-bbox="2347 174 2754 394"> <tr> <td>【学】11/4</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>【社①】10/16</td> <td>89%</td> </tr> <tr> <td>【社②】11/1</td> <td>81%</td> </tr> <tr> <td>【人①】12/11</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>【人②】12/14</td> <td>93%</td> </tr> <tr> <td>【人③】12/21</td> <td>97%</td> </tr> </table> <p>〔課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育行政や大学等と情報交換の機会も含めたより強固な連携に基づく推進体制の強化が課題である。 SDGsの達成のキーセクターである企業との連携を進めていく必要がある。 場づくり、出講共に札幌市内での開催に偏っているため、札幌市外での場づくりに向け地域ESD拠点等と連携協働を進める必要がある。 	【学】11/4	未実施	【社①】10/16	89%	【社②】11/1	81%	【人①】12/11	未実施	【人②】12/14	93%	【人③】12/21	97%
【学】11/4	未実施														
【社①】10/16	89%														
【社②】11/1	81%														
【人①】12/11	未実施														
【人②】12/14	93%														
【人③】12/21	97%														
<p>3. 地域ESD活動推進拠点（地域ESD拠点）の形成・活動支援</p> <p>3-1 地域ESD拠点の把握・登録促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 道内のESD実践・推進主体や支援拠点等のニーズや連携可能性等を調査し、地域ESD拠点への登録を働きかける。 <p>3-2 地域ESD拠点の形成・活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 「環境省ESD実践拠点支援事業」等をとおして、道内各地で拠点形成、地域協働モデルづくりを進める。 「ESD担い手ミーティング」等を開催し、地域ESD拠点や関係者の交流を促進するとともに、ニーズを把握し、課題解決を支援する。 ESD導入・実践に関するアドバイザーの登録・派遣制度の創設を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年間で20件程度の地域ESD推進拠点を登録し、情報交流が行えていること。 地域拠点のニーズが把握できており、必要なサポート、連携実績等が得られていること。 	<p>【地域ESD拠点の把握・登録促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道内ESD活動実践者等16団体21人に対してヒアリングの実施。 <p>【地域ESD拠点の形成・活動支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ESD拠点登録の働きかけ下記5拠点が登録済み。 ①北海道教育大学釧路校ESD推進センター（釧路市） ②北海道羅臼町教育委員会（羅臼町） ③独立行政法人国立青少年教育振興機構国立大雪青少年交流の家（美瑛町） ④特定非営利活動法人旭川NPOサポートセンター（旭川市） ⑤一般財団法人北海道国際交流センター（函館市） <ul style="list-style-type: none"> 「環境省ESD実践拠点支援事業」等をとおして、下記3拠点において関係者の対話の場づくり等による拠点形成、地域協働モデルづくりを進めた。 ①三笠ジオパーク・三笠市立博物館（三笠市） ②国営滝野すすらん丘陵公園 滝野の森ゾーン（札幌市南区） ③石狩海浜植物保護センター（石狩市） アドバイザー制度については、現状把握のため情報収集、制度の検討段階である。 	<p>〔成果〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ESD拠点の登録は現時点で5拠点の登録済みであり、いくつかの団体の登録の見込みを得ている。 「環境省ESD実践拠点支援事業」において、ESD推進体制の構築が進み、取り組みの継続実施に向けた自走が期待できる。 <p>〔課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ESD拠点の情報発信支援、事業連携など拠点登録のメリットを出していく必要がある。 地域ESD拠点同士の交流促進、アドバイザー制度の創出に向けて引き続き取り組んでいく必要がある。 												